



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1398例会 2014年7月16日例会記録 NO.3 天候 曇り

【本日】会員数 39名 出席 33名 欠席 6名 出席率 84.61% ビジター 2名
【前々回】会員数 38名 出席 36名 欠席 2名 MC 3名 出席率 94.73%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/http://isahaya-west.com E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

前原勝樹氏の講演より(1968) 続き

ポール・ハリスは自分の創ったシカゴクラブの例会に出席すると「童心に帰る」ことが出来るといわれました。またある先輩ロータリアンは、「例会の一時間は神様になる時間だよ」と教えられました。この童心、神様とはなんでありましょか。それは人間の本性ということで、例会の1時間は人間性を取り戻す時間であるという意味であります。人間性、それは人間の自然のあり方という意味でしょう。

人間には二つの面があります。自分の欲望を達しようとする獣性と、他人のために役立とうという神性とでも申しましょか。この二つであります。人間は哺乳動物の一種族として個体の生存のためにその本能の満足に向かって突進しています。しかしその肉体的な能力をみる時、大きさでは象に比すべきもなく、獐猛性はライオンにおよばず、敏捷性も鼠におとり、走る力はカモシカにははるかおよびません。

このように必ずしも強力でない肉体の持ち主である人間が、何故に万物の霊長として地球上を征服して、繁栄を続けているのでしょうか。それは人間の社会性であり、各分業を分担して共同社会をつかっていく公共性があるからであります。そしてこの公共心、思いやりの心が、個体の欲望の強さに比例しているであろうことは「悪に強きはまた善にも」といわれることから推察出来ます。

成功した実業家の皆さんは、そう申しては失礼ですが、個人的欲求の旺盛な方々であります。それであればこそ業界代表としてロータリアンに選ばれたのでありましょ。こうした意欲的な人々こそ公共心、奉仕の理想が旺盛のはずであります。しかし皆様は日常の業務に営々として、ほとんどわき目もふれぬお忙しさです。したがって、何か世の中に役立ちたいと思いついても、いつも目の前の仕事にかまけて構想がまとまらず、実行にも移せません。それは皆さんのためにも、地域社会のためにも残念なことであります。皆さんのやむにやまれぬ善意を成長させ、実行の機会を提供するのがロータリーであります。

ロータリーの例会の1時間、それは皆さんの息抜きの1時間です。業務のために緊張した心と体もリラックスします。競争者のいない世界、警戒心を必要としない時間、ここではじめて我に返り、反省が行われ、次第に本然の自分に帰ります。すなわち人間性が取り戻されて、他人の事や社会の問題等を考えるゆとりが出来ます。心の隅にあった善意の芽は育ち、考えていた奉仕を実行に移す決意も生まれます。このような心境になることをポールは「童心に帰る」といわれ、先輩は「神様になる」といったのでありましょ。これが親睦から奉仕が生まれる過程でありロータリーの本質の存するところでもあります。

賢明な皆さんは既にあるいは気づかれたとは思いますが、ロータリーの奉仕は個人個人の発意にあるということでありましょ。そして奉仕の主体はロータリアン一人一人にあるということでありましょ。

ロータリークラブはロータリアンに奉仕をさせるためのクラブであって、クラブが団体として奉仕するのはむしろ本筋ではないとされました。それはロータリークラブの組織なり運営なりを検討すればすぐ分かることでもあります。例えば役員的一年交代の点で考えてください。もし団体で奉仕するなら、適材適所で有能な会長を据え置いて数人のスタッフで、継続的に事業をするのが合理的でしょう。しかるに役員、委員の一年交代を実施しているのは会員に奉仕の勉強をしてもらいたいためであります。地域のどこに奉仕の必要が存在するか、これに奉仕するにはどんな手順を踏むべきか、自分はどの方面に奉仕出来るかを学んでいただきます。出席をやかましくいうのも一つにはこのためであります。奉仕事業団なら、これを協賛する人がお金を出せば事がすみます。ロータリーは皆さんの心の中にある奉仕の理想を高揚し、進んで奉仕出来る指導者になってもらいたいのです。世間では、ロータリーを評して金持ちの昼飯会だといっています。一応もつともな批評でございませ。こういわれた時、皆さんは「ロータリーは奉仕団体」だと説明していると思いますが、果たして相手が納得するのでしょうか。「奉仕、奉仕といっても、地域社会に対してたいしたことはしていないじゃないか」というのが一般市民の反発でございませ。正にその通りです。道路標識をつくる、くず籠を寄付する、雨傘を寄付する、みな結構ですが、あれだけ立派な社長や旦那や先生方が集った会にしては、仕事の規模が小さすぎはしないか、といわれるかもしれませ。私達はこの批判を甘んじて受けてよいと思ひます。それはロータリーの寄贈品は奉仕活動のサンプルであっていわば実習作品にすぎないからであります。交通標識を寄贈するのは、その寄贈が主眼ではありません。社会奉仕員がそれを採り上げたのは、交通問題が大きな社会問題であることを会員とともに認識を新たに、これを調査研究しロータリーはこれといかに取り組むべきかという課題を提供したものであります。ロータリーの寄付行為はそれ自身が目的でなく、むしろこれを出発点として会員各人に奉仕を奨励し、またその問題に対する地域社会一般の関心を高めて、問題解決へ接近しようとするものであります。

私は、ロータリークラブは大学病院のようなものだと考えます。大学病院は患者の診察もしています。しかし、その診療は診療そのものが目的でなく、よい医者を養成するための実習であります。この点、ロータリークラブの奉仕と立場を同じくしています。ロータリーはクラブが行う奉仕を通じて、会員をよい奉仕的人間に仕立てるための訓練をしております。しかし、大学病院でなければ治せぬ病気もあり、また、よりよい診療のための調査研究も必要であります。奉仕の世界も同様であります。一人でやりにくい奉仕もあります。また、どこに奉仕が必要か、これに対してどのように奉仕すべきかなどの調査研究機関であるとともに地域の指導者であるロータリー会員に対する奉仕への訓練機関であります。

このように考えることによってロータリーの機構や、その運営に関する疑問が解けて来るかと存じます。そうしてロータリーに「参加し敢行する」ということはどん

なことかということもお分かりになってくると思います。

ロータリーは団体として奉仕活動するというよりはむしろ、ロータリアン個人の奉仕を期待していることは「綱領」に明示してある通りであります。その点でロータリアンは訓練生であり、幹部候補生であると考えられます。事業に成功した素質のよい地域社会の指導者にもう一つ奉仕という筋金をいれてあげようというのがロータリークラブです。したがってロータリーに参加し敢行しようとするれば、まずロータリアンとしての誇りを思い、責任を感じなくてはなりません。例会には必ず出席し、会員同士はお互いに尊敬を交わしつつ友情を深めます。例会出席が楽しくなった時、あなたの心には奉仕の理想が湧いてくるのです。ご自分の所属している委員会には進んで出席し、またあらゆるロータリー行事に参加して勉強してください。ロータリーのルール、すなわち情報は世界中の知能を集めてつくられた奉仕へのハイウェイであります。あなたは委員会活動に積極的に参加して実践してください。はじめに申した通りロータリーには見物席はありません。みんな役者のはずであります。スポーツも芝居も見物するより自分でやる方が面白いにきまっています。この面白さがあなたに勇気を与えます。ロータリーで実践した小さな奉仕があなたを大きな奉仕事業に踏み切らせませす。

幹事報告

【例会変更】

※なし

【お知らせ】

※諫早市企画政策課より

「平和のつどい 開催」のご案内

日時：平成 26 年 8 月 9 日(土)

受付 13:30 18:30 ~ 20:00

場所：健康福祉センター

※諫早市献血推進協議会より

「諫早市献血推進協議会役員の推薦及び平成 26 年度総会 開催」のご案内

日時：平成 26 年 7 月 31 日(木) 13:30 ~ 15:00

場所：諫早市役所本庁 8 F 8-1 会議室

◆ゲスト紹介

- ・ガバナー補佐 千葉まさこ 君 (諫早南 RC)
- ・諫早南ロータリークラブ 山口賢也 君
- ・諫早南ロータリークラブ 永渕憲輔 君



委員会報告・その他

●社会奉仕委員会 毎熊委員長

本明川の大清掃について

恒例の本明川の大清掃が 7 月 13 日(日)雨で中止ではありましたが、25 名の参加がありました。ありがとうございました。



●ウエスト会 森会員



スマイルボックス



千葉 昌子様(諫早南ロータリークラブ): ガバナー補佐として、はじめての訪問です。よろしくお願ひします。

永渕 憲輔様(諫早南ロータリークラブ): いつも御世話様になっております。今後共よろしくお願ひ致します。

山口 賢也様(諫早南ロータリークラブ): 久しぶりにうかがいました。パルドピッチェコンサートをどうかよろしくお願ひします。

辻本 善樹君: 千葉ガバナー補佐、諫早南 RC の山口様、永渕様御来訪ありがとうございます。13日(日)の川そうじには中止にもかかわらず、多数の参加者でした。久保クラブ奉仕委員長と山口増強委員長、武雄でのセミナーお疲れさまでした。

木村 暢義君: 千葉ガバナー補佐、山口さん、永渕さんようこそいらっしゃいませ。又、雨の中、川清掃にこられた方、有りがとうございます。

日高 正朗君: 千葉まさ子様、山口賢也様、永渕憲輔様の御来訪を歓迎致します。ようこそいらっしゃいました。

毎熊正太郎君: 会員の皆様には、本明川の清掃では、朝早くよりおつかれ様でした。

池田 久幸君: 今月初めての出席です。3 回分ニコニコします。

本日の合計(7/16)	累計額
¥28,000	¥156,000

各委員会活動方針



●職業奉仕委員会 永井栄次委員長

*活動方針

- ・ロータリアン各自が業務を通じ社会に奉仕し貢献する、「職業奉仕」はロータリー活動の基本である

ことをもう一度、皆さんで再確認し、ロータリーの意義を理解する。

- ・職場訪問 長崎県を代表する企業 三菱重工業(株)長崎造船所訪問と造船所資料館や日本の近代化を支えてきた海底炭坑の島、軍艦島〔端島〕へ上陸し見学を行う。ご夫人参加も呼び掛ける。

*活動計画

1. 職場訪問 三菱重工業(株)長崎造船所一部 資料館と軍艦島見学
2. 職業奉仕 地区委員による卓話



●社会奉仕委員会 毎熊正太郎委員長

*活動方針

- ・清掃活動の推進
- ・地域発展の郷土奉仕
- ・福祉施設の児童への奉仕 (サマーフェスティバル開催)

*活動計画

- ・本明川清掃例会の実施
- ・桜並木の管理
- ・のんこの祭り協賛
- ・児童福祉施設を訪問 (サマーフェスティバル開催)



●国際奉仕委員会 吉田健一郎委員長

*活動方針

次世代を担う子供たちが、文化・歴史の異なる同世代との交流を通じ、お互いの絆を深めて頂きたい。そし

て、国際的視野を広げ、国際理解と国際平和に寄与する人に育つ事を目的とした事業を行う。

*活動計画

- ①諫早市内の小学校と佐世保ダービースクールとの交流会 9～10月予定
- ②留学生を囲んで日本文化の体験学習と交流会 10～11月予定
- ③留学生卓話 3月予定 (2月が世界理解月間ですが、周年事業で忙しい為)



●ロータリー財団・米山奨学委員会

池松和彦委員長

*活動方針

米山奨学会制度をロータリアンとして、理解を深め、支援する意味を考えていき

たいと思います。

*活動計画

- ・米山奨学生の卓話 (11月 R.財団月間)
- ・米山奨学金2名
- ロータリー財団2名
- ベネファクター1名



●青少年奉仕委員会 塚原浩三委員長

*活動方針

次世代を担う青少年の健全な育成を目的とした事業を実施する。

事業の準備や実施にあたり、

全会員の協力をお願いし、ロータリークラブの意義を認識すると共に、親睦を深めたい。

*活動計画

- ・青少年月間の部外卓話の実施
- ・30周年記念事業の一環でもあり、継続事業でもある、ミニバスケットボール大会の実施。



●SAA

御厨善光委員長

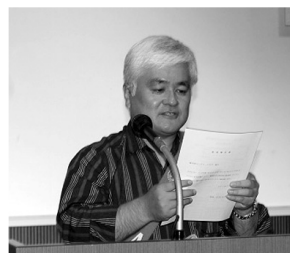
*活動方針

当クラブらしいアットホームでありながらも、気品のある例会を目指したい。

*活動計画

- ・喫煙については、12:50より紳士らしいマナーを持って楽しんで頂きたい。
- ・卓話者の時間は十分確保出来る様、関係セクションとの調整を図る。
- ・例会終了時に次回例会の予定、及び内容等のアナウンスを行う。
- ・SAAとしての権威と責任感を持って例会に臨みたい。

前年度決算・監査報告



前年度決算報告 原田典範君

監査報告 日高正朗君